

Title	平成23年度プロジェクト科目年度末報告会 : Oral presentations by graduate students in project course 2011
Sub Title	
Author	桃生, 朋子(Mono, Tomoko)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム人文科学分野論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2011
Jtitle	活動報告書 Vol.5, (2011.) ,p.40- 40
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	第2章 : シンポジウム等の活動報告
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002002-20120300-0040

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

平成23年度プロジェクト科目年度末報告会

Oral Presentations by Graduate Students in Project Course 2011

13

開催日 2012年2月7日
企画 全体
講演者 平成23年度プロジェクト科目履修者

2012年2月7日(火)、2011年度プロジェクト科目報告会が行われた。まず慶應人文グローバルCOE拠点リーダーの渡辺茂教授より挨拶があり、その後、履修者から報告がなされた。最初にプロジェクトEの山本奨氏(タイトル:音楽作品とは何か)による報告があり、次にプロジェクトCの藤田麻友美氏(タイトル:メタ言語意識と外国語学習の関係)、大野賢一氏(タイトル:自伝的記憶と物語文読解後の記憶の構造の検討)、永井敦氏(タイトル:The Effect of Metalinguistic Ability on Foreign Language Learning)、吉原友美氏(タイトル:日本語否定接頭辞の語形成)、野中滋氏(タイトル:課題価値の強調が「教師の仕事内容」に対する興味に与える影響)、桃生朋子氏(タイトル:中国語母語話者による日本語主語省略構文の獲得)より報告があった。最後にプロジェクトAの江藤啓介氏(タイトル:Economic Profits Enhance Trust, Perceived Integrity and Memory of Fairness in Interpersonal Judgment)、玉田圭作氏(タイトル:4コマ漫画の速読と眼球運動)の報告があった。報告終了後、各プロジェクト責任者から講評が述べられ、最後に渡辺教授より履修者に修了証が授与された。

プロジェクト科目があることで、分野の垣根を越えた議論お

よび研究を定期的に行うことができた。プロジェクト科目は今年度をもって一旦終了するが、このような機会は是非継続して設けていきたい。(桃生朋子)

A debrief session for “Project course 2011” was held on 7th February 2012. After nine presentations were given, each student was awarded a certification of completion.

